

eclectic

Syncretistic

習合

複合
相合 連合

Combinatory

日本語と英語で

国際シンポジウム

「神仏習合」を再考する

—英語訳をめぐる—

融合

化合

Amalgamation
fusion

組合

融合

2024年6月30日(日)
13:00 (JST) ~

吉田一彦編『神仏融合の東アジア史』(2021年)は、東アジアの諸地域における多彩な神仏習合の事例を扱った書であるが、そこでは神仏習合に代わって神仏融合という用語が提案されている。それは、漢字文化圏にふさわしい用語の探求の試みとして評価できよう。それでは英語圏では、神仏習合はどういう用語で語られてきたのか、あるいは語られるべきであろうか。本シンポジウムは、英語と日本語で神仏習合とその用語を話しあい、研究史を一步進めることを目的にしている。(発表:日本語、議論:日本語/英語)

○プログラム

司会 **ポール・スワンソン**、**林淳**

13:00 趣旨説明

13:10 **吉田一彦** 「神仏の「習合」と「融合」—英訳の前提」

13:35 **ファビオ・ランベリ**「神仏習合関係の観念と用語—ギリシャ・ローマの古典文明から考え直す」

14:00 **ジャッキー・ストーン**

「意味づくりの論理としての神仏習合—中世にみる神・本覚・「日本像」を中心に」

14:25 **マーク・テーウェン**「奥三河の花太夫から見た「神仏習合・融合」

14:50 休憩

15:05 **マシュー・マクマレン**、**石原和**「コメント」

15:35 ディスカッション

16:30 終了予定



○申込方法

6月28日までに右のQRコードよりお申込みください。

○お問い合わせ先

shinbutsushugo.saiko (at) gmail.com (at) を@に変更してご送信ください。